

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
国語	2・東書 新しい国語	○日常生活に必要な国語についての特質を理解し、適切につかうことができるようにするために年度当初に書くこと「情報の扱い方」系統の小単元を位置づけ、情報の扱い方における知識及び技能の基礎を身に付け、以後の学習に役立てられるように配慮されている。 ○日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養うために、見通しを持って学習ができるように学習の流れを明確に示している。「書くこと」では例文の中から必要な情報を読み取り、学習を進められるよう配慮されている。 ○「読むこと」の後に本の写真を掲載したり、作者へのインタビューや絵本の紹介などをしたりしている。また、生活場面の対話例、敬語の使い方、言語に関する教材を配し、言葉の持つよさを認識させる配慮がなされている。「ことばあつめ」「ことばの広場」をもうけ、言語感覚を養う工夫がされている。 ○言葉による見方・考え方を働かせ国語科で目指す資質・能力を育成するために各単元は「つかむ」「取り組む」「振り返る」のステップに沿い育成すべき「言葉の力」を明確にしている。 ○主体的で深い学びの実現のために各学年の最初に「話すこと・聞くこと」の「対話」の小単元を設け、友達との対話を通じてお互いの考えを広げたり、深めたりする学習を位置づけ、対話的な学びの基礎基本となる力が身に付けられるよう工夫されている。 ○伝え合う力を高めるため各巻の巻頭に当該学年の「言葉の力」を見通す「○学年で学習する言葉の力」や、1～4年生の下巻の巻末付録には上巻で

		学習した「言葉の力」を振り返る「○上で学習した言葉の力」を設け、「言葉の力」の系統やつながり、伝え合うためのいろいろな方法などを提示している。 ○単元の構成や教材の配列では、2年生以上の各巻の巻頭に「国語の学習の進め方」を設けるなど1年間で身に付けたい力を見通すための単元を配列し、年間を通して「何をどのように学ぶか」が見通せるような単元の配列が見られる。学習の基盤となる知識や技能を「おさえる」として明示している。また、課題解決的に学習を展開できるよう単元が「つかむ」「取り組む」「ふり返る」で構成されている。 ○単元や教材の分量は、各領域の指導事項をもれなく、バランスよく育成できるよう領域ごとに適切な系統を設け、全学年を通じ系統的に取り扱っている。 ○用語や記号、レイアウト等について脚注に難解語句についての説明があり、新出漢字は青枠で囲まれわかりやすく表記されている。巻末に新出漢字の読み方や筆順がまとめられてあり、例語や使い方が複数示されている。 ○写真や挿絵、図表等について色覚の多様性に配慮され、色だけで区別・判別する表現を避け、必要に応じて色以外の情報を加えて全ての児童が見やすい紙面となるよう配慮されている。 ○装丁や使用しやすさについては、本文には見やすく、文字の指導に教科書体を独自に開発し使用しており、また、読み書きにつまずきを抱えやすい児童を支援する指導モデル（MIM）を生かした特殊音節の指導が取り入れられており配慮がされている。
--	--	---

令和2年度使用 茨城県第4採択地区 教科用図書の採択理由書

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
書写	38・光村 小学校 書写	○点画の書き方や文字の形筆順などに注意しながら正しく書くことができるようにするために色分けによる示し方だけでなく矢印の形状に着目させ、点画の書き方や筆順に注意して書けるよう配慮されている。 ○自分の文字の課題を発見したり、学習したことを日常生活に生かしたりするために「学習の進め方」において、友達と書いたものについて話し合う活動を取り入れているので、自分で書いた文字の課題に気付く工夫が見られる。 ○用紙や書式筆記具に関心をもたせ、主体的な学習を促すために学習の振り返りとして、その時間学習したことを「○」「△」で振り返る活動を示し主体的な学習を促している。 ○児童の発達段階や個に応じた指導に対応するために教材については1年生では「びたっ」「すうっ」「びょん」という擬態語や猫のキャラクターを示し点画の書き方を楽しく覚えることができるよう配慮され、見開きページを取り入れて視覚に訴えるなどの工夫がされている。 ○教材の構成・配列は1教材1目標とし、学習を通して身に付ける力を教材名としている。その教材で扱う要素を焦点化することで学習の狙いが明確になり効果的に力を付けられる配慮が見られる。

		○硬筆・毛筆の配列では、学習課題について考え、毛筆での学習を効果的に硬筆へ生かせるよう毛筆学習の後に「硬筆のまとめ」を設定している。 ○文字の濃淡、写真、イラスト、用語の表記等については、文字や図表などに複数の色を用いる場合に、全ての児童が明確に識別できる色の組み合わせに配慮している点に工夫がある。 ○教材の字形・書体は、単元・教材名や「たいせつ」に、読みやすさと見やすさを追求したユニバーサルデザイン（UD）書体を用いているところに工夫がある。 ○装丁や使用上の便宜等では、強度が強く鉛筆で書きやすく、裏移りの少ない紙を採用している。統一感のある明瞭な色使いで文字やイラスト、写真が見やすく学習のポイントに注目しやすい工夫がある。
--	--	---

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
社会	2・東書 新しい社会	○巻頭に「○年生で学んだこと」「○年生で学ぶこと」、巻末に振り返りに関する頁が用意され、見通しをもって学習したり、学んだことを適切に振り返ったりすることができるような構成となっている。 ○問題解決の過程を「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」として明確に示すとともに、「まなび方コーナー」を設けて技能の定着に配慮している。 ○「まとめる」の頁では、登場人物の考えやノートの例が提示され、これらをもとに話し合ったり、図表にまとめたりする活動を通して多角的に考える力を養えるように工夫されている。 ○「いかす」の過程で、自分にできることを考えたり、選択・判断したりできるように工夫され、社会参画を意識した構成になっている。 ○各大単元の導入の見開き頁には、「学習のめあて」が示され、小単位ごとに児童相互での話合いの場면을提示し、多角的に考えられるよう配慮されている。 ○4つの視点（位置や空間的な広がり）（時期や時間の経過）（事象や人々の相互関係）（比較・分類・総合・関連付け）をイラストで区別したり、4つの視点に関連した具体的な問いを設定したりすることで、児童が社会的な見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。 ○「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」のそれぞれの段階において、話合いや討論の場면을提示し、対話的で深い学びにつなげるような工夫が見られる。 ○「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の学習段階をたどりながら、様々な方法で学習問題を追究していくことができるような工夫が見られる。 ○学習箇所によりデジタルコンテンツが用意されている。 ○選択教材では、主に2つの事例を小単位として設定し、共通して活用できる頁を除くと同じ分量にまとめられている。 ○単元名や学習展開を色分けして示しており、本時の学習課題が文節の区切りで改行され、児童が的確に読み取れるような工夫が見られる。 ○5・6年生は2冊に分冊され、軽量化の工夫が見られる。 ○6年生は、「歴史編」「政治・国際編」に分かれている。

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
社会	46・帝国書院 小学生の地図帳	○巻頭12頁を使って「地図のやくそく」や「地図帳の使い方」などをていねいに、わかりやすく解説している。地図の基本や、目的に応じた使い分けを学べるよう配慮されている。 ○「地図の使い方」の後に、導入期の児童にも親しみやすい日本の地方図を10頁にわたって掲載し、児童に地図のよさが感じられるように配慮している。 ○世界地図の頁に「集まれ世界のこどもたち」のコーナーを設け、自然や生活に関する様々な児童の意見を掲載することで、多角的に考えられるよう配慮されている。 ○防災について重点的に掲載し、各地の防災の工夫や、児童自らが身を守るためにできることを考えるコーナーを設けるなど、主体的に問題解決できるよう配慮されている。 ○「地図マスターへの道」コーナーを設け、個に応じた深い学びへの糸口を示している。 ○「二次元コード」がある頁を設け、インターネットを使った発展的な学習が展開できるよう工夫されている。 ○世界地図は、各州の地図の後に、アジア・ヨーロッパ・アメリカ合衆国の詳細な地図を掲載し、学習の深化を図る工夫がなされている。 ○学年を意識したキャラクター、字体や土地利用の判別を意識した地図、レイアウトの統一など、ユニバーサルデザインに配慮している。 ○世界の主な国名に英語表記を併記して、外国語学習との関連を図っている。 ○地球儀を意識した地図の提示、関連あるデータ、写真、図表を組み合わせた提示など、視点を広げながら学習できる工夫が見られる。 ○目的別色分けの目次、色やマーク入りで国語辞典を意識した表記の索引、地図に適したインクの使用、書き込みできる用紙の使用など、児童の立場に立った配慮がなされている。 ○120頁の大容量ながら、紙の軽量化を図り、全体の重さを抑えて児童が持ち運ぶことに配慮している。

令和2年度使用 茨城県第4採択地区 教科用図書の採択理由書

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
算 数	4・大日本 たのしい算数	○ 全学年とも教科書を一冊にまとめることで、当該学年で学習する内容を見通したり、既習内容の確認や学び直しが容易にできたりする。 ○ 計算方法や考え方を書き込むスペースが広く取られ、筋道を立てて説明するモデルが複数示されているので、数理的な処理の方法について学び、数学的な考え方を育成することができるよう工夫されている。特に、数直線図を用いた考え方を重視し、低学年からそのよさに気付かせる工夫が見られ、指導に一貫性をもたせられる。 ○ 作業的・体験的な活動を多く取り入れ、興味・関心をもって主体的に活動に取り組めるよう配慮されている。 ○ 練習問題が豊富で、基礎・基本の確認から発展まで、習熟など個に応じて学習を進められるように配慮されている。 ○ 2学年以上には、毎時間ごとの学習のめあてとまとめが正対するように示されていたり、写真やイラスト、キャラクターの吹き出しを用いて実際の授業場面が表現されていたりするなど、児童が自ら思考し表現する活動がしやすくなっている。 ○ 数と計算、量と測定、図形、数量関係の各領域を他教科との関連や学習時期も考慮して配列し、学習意欲が持続できるよう配慮されている。 ○ 「算数たまたばこ」や「なるほど算数教室」により、生活の中にある算数の話題や発展的な課題を扱うことで、学習した内容を多くの場面で活用できるよう工夫されている。 ○ 6学年の巻末には、数学の素地となる活動や内容の紹介をする「数学の世界へ」が設けられ、接続の視点から中学校数学への意欲付けと関連を意識できる構成になっている。

令和2年度使用 茨城県第4採択地区 教科用図書の採択理由書

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
理科	4・大日本図書 理 科 たのしい理科	○ 巻頭の「理科の学び方」に、問題解決の過程や学年で育成を目指す問題解決能力について明示し、見通しをもって問題解決に取り組めるよう配慮されている。また、問題解決の中では、「問題」と「結論」の整合性があるので、目的をもって観察・実験に取り組み、学習内容を理解しやすい。 ○ 問題解決の過程を『見つけよう』→『調べよう』→『伝えよう』と、大きく3つのまとまりに分け、問題解決の過程が色分け表示されるなど、わかりやすい構成である。さらに、学年ごとに設定された思考力、判断力、表現力等を主として育成する過程には★マークを付け、学習指導時に意識できるものとなっている。また、問題解決の過程を結果のまとめで区切らずに、それを人に分かりやすく伝える活動までを問題解決の過程としており、表現力の向上を意識したものとなっている。 ○ 様々な理科の見方ができるような発言例を提示し、理科の見方を制限しないような配慮をしている。理科の考え方を踏まえた観察・実験のタイトルをつけることで、考え方を意識して問題解決活動ができるように工夫している。 ○ 各単元において、学習問題に対する結論と説明を区別して明示し、児童が学習問題と正対した結論を元に基礎的・基本的な知識の定着が図れるよう配慮されている。 ○ 実験器具や理科室の使用が重ならないように各学年の単元構成が配慮されている。2学期制、3学期制のどちらにも対応できるように指導計画が作成されている。また、6学年の冒頭に生活と環境

		との関連を学ぶ小単元を配置しており，学習を身近に感じる工夫がされている。書き込み式のまとめ問題や重要語句のチェックができるようになっている。次年度に学習する内容についても写真に加え小単元の見出しも掲載し，学習意欲を高める工夫がなされている。 ○観察・実験器具の扱い方については，学習個所に掲載するとともに，巻末に「使い方を覚えよう」として，複数回使用する器具や下位学年で使った器具についてすぐに振り返り，活用できるよう工夫されている。 ○理科と他教科との関連について，算数科や生活科，他教科で学ぶことについて，学習するページにマークとともに掲載し，関連付けて学習できるようになっている。 ○「理科と仕事マーク」「伝統」「英語」「防災」「ESD」などのマークを設け，理科とキャリア教育，伝統文化，国際理解，防災，持続可能な社会の関連を特に意識できるようになっている。 ○巻末には，各単元末に学習内容を児童がまとめたり確かめたりすることができる「たしかめよう」で活用できるシール（３年）や切り取り式の動物・植物シート（３年），星座シート（４年）などがつけられており，授業での学習のみならず，自主的な学習の場でも活用できるものとなっている。 ○紙質は上質で，可能な限り軽量なものを使用し，各学年あたりの重さを４００～５００ｇとし，重量による児童の身体的な負担の軽減に努めている。
--	--	--

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
生活	2・東書 生 活 あたらしいせいかつ 新しい生活	○ A4判を使用し、文字や写真をゆとりを持って効果的に配置したり、下巻には学びのプロセスをページ下方に掲載する工夫が見られる。 ○ 巻末にある「かつどうべんりてちょう」や「ポケットずかん」は、豊富な資料で生活上必要な習慣や技能が身に付き、様々な学習活動で活用できる。特に「ポケットずかん」は、教科書から取り外すことができ、観察時に持参することができる工夫が見られる。 ○ 活動のめあての文字を大きく目立つようにし、表情を捉えた写真等を多用することで、児童の思いや願いを膨らませながら、主体的に考えたり活動したりできるよう工夫が見られる。 ○ 単元末に伝え合うページを設けることにより対話的な学びに向かわせる工夫が見られる。 ○ イラストの児童の吹き出しにより深い学びの視点を示すと共に、下巻の「学びを深める」コーナーでは、深い学びへの課程を具体的に示している。 ○ イラストの児童の吹き出しが精選されており、「知識・技能の基礎」「思考力、判断力、表現力の基礎」、「学びに向かう力、人間性等」を具体的な姿として表している。 ○ 季節の変化と生活を関連づけた内容を、多く取り上げ、同じ場所の四季の変化を見開きイラストで詳しく示すなどや四季の変化を意識しながら生活や学習ができるような単元配列になっている。中でも、花の栽培においては、ページ左を裁断し、生育の様子が連続的にひとめで比較できることで、児童の学習の定着を図りやすくする工夫が見られる。 ○ 単元末に「やってみよう」を設置し、学習に発展的・選択的に取り組める特色がある。 ○ 他教科とのつながりは、上巻ではスタートブックの中で、下巻では、単元内に教科名を示してはつきりわかるようにしている。 ○ 「つたえよう」「はなしあおう」等のページにおいては、育てたい資質・能力を具体的に表していると共に、友達と互いのよさを認め合い相互評価の活動ができるよう配慮されている。 ○ 「保護者の皆様へ」のコーナーにより、生活科への理解を深める工夫が見られる。

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
英語	2・東書 NEW HORIZON	○ 外国語活動（外国語科）の目標との関係では、各単元、音声活動で重要表現に「出会い」、ペア・グループワークなどの協働的な学びで「慣れ」、コミュニケーション活動で「表現する」という一連の学習活動の中で、外国語におけるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、その場に適した表現に気付くことができるように配慮されている。また、児童が自分の考えを伝える活動を繰り返すことで、実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な知識・技能や主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図っている。 ○ 題材内容においては、自分から地域、日本、世界へと広がっており、世界の人権・多様性を考える題材を扱う等、見方・考え方を働かせるための工夫がされている。また、対話活動で用いる基本的な表現が単元ごとで終わるのではなく必然的に繰り返し使用する場が設けられている点は、学びの連続性や学習者が主体的・対話的な学びを深めることができるよう編集されていることが感じ取れる。 ○ 言語・学習活動及び指導のしやすさの観点からは1か月あたり1Unitで構成されており、進度の目安がつけやすい。目標表現を基にしたSmall Talkの例文が計画的に示され、授業で活用しやすく構成されている。Word Linkでは別冊のPicture Dictionaryの関連のページが紹介されており、コミュニケーション活動で主体的に活動できるように配慮されている。 ○ 中学校外国語科との接続への配慮として、最後の単元で中学校生活について考えたり、巻末で、今までに学習した表現を確認したりする学習がある。さらに、話す、聞く活動を核としながら、読む、書く活動の分量・配列が効果的であり、中学校での学習への橋渡しに意を用い、自然につながるができる。 ○ 表記・体裁上では、課の冒頭で学習への動機付け、目標の提示がなされ、主体的に取り組む態度を培っている。英文は、適度な分量で、場面設定や活動状況が理解しやすいように写真やイラストが適宜使用され、学習者の理解を助ける配慮が感じ取れる。

令和2年度使用 茨城県第4採択地区 教科用図書の採択理由書

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
音楽	27・教芸 小学生の音楽	○ 各学年においてスタート時のオリエンテーション的な題材が取り上げられており、音楽活動を通して友達づくりがスムーズに行われるような工夫がされている。 ○ 我が国や郷土の文化を受け継ごうとする気持ちを育てるため、太鼓パートを口唱歌で歌う等、すべての児童が取り組みやすい体験型の鑑賞学習で親しみをもたせる工夫や、社会科や総合的な学習の時間との連携を図って調べ学習で興味・関心を育てる工夫がされている。 ○ 子どもやキャラクターの吹き出しを充実させて、気付けてほしい点や創意工夫のポイントをわかりやすく示し、対話的で協働的な学習を進められるような工夫がされている。 ○ 表現を工夫するためのヒントや学習の活動例、個々の思いや意図が書き込めるワークシートが掲載されており、互いに意見を交流し考えを広げ深め、主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。 ○ 低学年では歌唱・音楽づくりの教材、中学年では器楽教材、高学年では鑑賞教材といった、低・中・高で重点領域を置き、基礎・基本の定着を図る工夫がされている。巻頭の「学びの地図」で年間の見通しを示し、音楽を形づくっている要素を中心に、6年間を通して系統的で学びがつながる題材構成になっている。 ○ 特別支援教育の視点に立ち、ユニバーサルデザインを取り入れ、すべての児童にとって使いやすく学びやすいように配慮されている。優しい色調のイラスト、識別しやすい配色、楽譜や説明文を目立たせるレイアウト等、児童が集中して学習できるような工夫が見られる。

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
図画 工作	116・日文 図画工作	○ 図画工作科における新学習指導要領改訂の趣旨を十分踏まえた内容である。掲載されている題材は豊富で、各領域のバランスがよく充実している。多様な題材が掲載されているため、学校や児童の実態に合った指導計画を作成しやすい。 ○ 表紙の裏のページには、児童が驚きを感じるような作品や写真を掲載しており、図画工作科への興味・関心を高めるのに有効な構成となっている。また、友達と創作活動を楽しむ場面が多く掲載され、対話的で深い学びが実践しやすいように工夫されている。 ○ 教科書の左上に色別で領域が明示されていたり、どの題材のページにも3つの学習のめあてが黒板の形で掲載されていたりするなど、紙面全体が共通にデザインされており見やすい。子どもが興味・関心をもつ題材名で創作意欲を高める配慮がなされている。また、題材に応じてデジタルコンテンツが活用できる。 ○ 高学年ではとくに鑑賞が充実している。鑑賞素材も日本の伝統的な技と美や世界の美術作品を取り扱うなど幅広い。また、幼児教育や中学校の美術科など、校種間の接続や、地域や美術館との連携にも配慮している。 ○ 巻末には、材料や用具の使い方、表現技法についての資料が示されており、造形活動の基礎・基本を育成するために有効である。

令和2年度使用 茨城県第4採択地区 教科用図書の採択理由書

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
保健	2・東書 新しい保健	○ 基礎的・基本的な知識が簡潔にまとめられており、大切な部分は、ゴシック体にして見やすいように工夫されている。 ○ 文字や資料が大きくて見やすく、教科書とワークシートが一体化しているという特色があり、ワークシートを準備しなくても教科書に学びの記録を残すことができる。教師も児童も学習が進めやすい。 ○ 児童の生活場面を想起させる資料を配置し、身近な例から課題に気付いたり、課題を見付けたりすることができる。 ○ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得や主体的・対話的で深い学びの充実に向けて、各小単元が4つのステップに分けられている。 ○ ステップ1「気づく・見つける」で自己の課題を発見し、ステップ2と3において、課題解決に向けて、調べたり、話し合ったり、説明したりする活動を設定することで、思考力・判断力・表現力の育成を図っている。ステップ4「まとめる・生かす」で保健の見方・考え方を整理し、学習したことをこれからの生活に生かすことができるように工夫されている。 ○ ステップ1からステップ4のそれぞれの発問を工夫することにより、健康の保持増進や体力の向上を図ったり、安全な環境を整えたりするなど、保健の見方・考え方が働くように構成されている。 ○ 「資料」で運動領域との関連を示し、運動に関する内容が随所に取り上げられている。「実習」では、分かりやすいイラストやデジタルコンテンツを提示して、体験を伴った学習形態を取り入れ、主体的に取り組めるように配慮されている。 ○ 単元末の「学習を振り返ろう」では、もっと知りたい、調べたいと思ったことを書く欄が設けられ、さらなる学びへの意欲を喚起するように工夫されている。 ○ 各単元の導入ページに目標や他教科とのつながり、学習の進め方などが明示されていることで、学習の見通しがもてるという工夫が見られる。

令和2年度使用 茨城県第4採択地区 教科用図書の採択理由書

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
家庭	9・開隆堂 わたしたちの家庭科	○ 各題材のとびらのイラストや写真は、児童が興味・関心をもち、さまざまなことに気付いたり、課題を見つけたりできるようになっている。また、グループや学級で対話することによって自分の気付きをもとに新たな視点を得たり、深い学びへつながったりできるようになっている。QRコードなどでコンテンツを利用することで、視覚的な資料も利用でき、知識や技能を身に付けられるようになっている。 ○ 題材が細かく区切られているため、地域や学校の事情等によって順序の組み換えがしやすくなっている。 ○ 各題材の終末に「ふり返ろう」「生活に生かそう」コーナーが設定されており、身に付けた力を生活の中で実践しようとする態度を育てやすい。また、習得した知識及び技能などを実生活で活用するための「レッツトライ生活の課題と実践」のページを設けている。さらに、考えのもとになる科学的根拠が視覚的に分かりやすく示されており、生活の中で実践していこうとする意欲を高めるための工夫がある。 ○ ユニバーサルデザインにも特化しており、文字の大きさ、文字数、色使いに配慮が見られる。特別支援教育的な視点から見ると単語や節が行をまたがないように改行位置を工夫しており、文章や語彙の意味がひと目で理解できるよう読みやすい構成になっている。

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
特別の教科 道徳	116 日文 小学 道徳 生きる力	○ 「考え、議論する道徳」の実践に向けて、巻頭に道徳を学ぶ意義と学習内容や、道徳の1時間の流れを、画像や配色豊かな紙面構成で、児童に分かりやすい工夫がされている。 ○ 導入部分では教材に入り込むきっかけとなる発問例を、展開では「考えてみよう」に教材のねらいに迫るためのヒントとなる発問例を、終末では「見つめよう 生かそう」にまとめと価値の一般化へつなげていく発問例が掲載され、1時間の授業の流れが見通せる分かりやすい構成になっている。 ○ 教材の見出しに資料のあらすじと主な登場人物が掲載されているので、児童及び教師が資料内容のイメージ化と内容把握を助けるようになっている。 ○ 道徳において、主体的・対話的で深い学びを実現するために「学習の手引き」を設け、「体験的な学習」・「問題解決的な学習」の手法を用いた指導例を示している。 ○ 学校や地域の実態などに応じて弾力的に取り扱えるよう、全学年3点の付録教材が掲載されている。また、その付録教材は、児童の考えを広げる教材としても活用することができる。 ○ 別冊で「道徳ノート」を設けることで、児童の学習内容の理解や道徳性の変容等を継続的に把握して、指導や評価に役立つようにしている。ノートにはフリースペースが設けられ、担任の授業スタイルに対応できるように配慮されている。 ○ 発達段階に応じた振り返りができるように工夫されている。